

写友会 便り

NO.8 祝卒業号

ロゴ 60P 隅田真悠
イラスト 52P 菱井彩乃
はに丸



発行日：令和2年3月5日
発行者：大阪市立工芸高等学校内 写友会
大阪市阿倍野区文の里1-7-2
06-6623-0462

映像デザイン科六十一期の皆様

ご卒業おめでとう御座います。
本日、晴れの卒業式を迎えた諸君は、この3年間、工芸高校において、学業に精進するだけでなく、人格の向上など自己鍛錬に努めて来ました。

これらの努力、情熱に対して心から敬意を表すると共に、感嘆せずにはいられません。この日を迎え、ご両親のお喜びもいかばかりかと存じ、改めてお祝い申し上げます。

諸君は今後、それぞれが選んだ未来に向かって、それぞれの道を進むことになるわけですが、いずれも諸君の人生の重大な岐路に直面していると言えます。

どんな場面に直面しても諸君は、この工芸高校で3年間培ってきたものを十分に発揮し、乗り越えて行くものと信じております。何事に対しても、自信を持って、各自が置かれた立場で全力を尽くして奮闘してください。

高校を卒業しても、諸君は、まだまだ青春の真つ只中にいます。若さは、人生を育むためのエネルギーです。不屈のチャレンジ精神を持ち、何事にも全力でぶつかり、一生悔いのない、素晴らしい青春を謳歌してください。
より一層のご活躍を心から期待しております。

大阪市立工芸高等学校 写真工芸科十七期

写友会会長 杉野 謙

「壁」を超える助けに…

六十一期生のみなさんご卒業おめでとうございます。そして写友会へようこそいらつしやいました！まずは、3年間の高校生活を毎日支えてくださったご両親や周りの方々に感謝しましょう！
優しく、時には厳しく見守ってくださった山田先生をはじめ、映像デザイン科の先生方と、通いなれた校舎に別れを告げる時を迎え、これから始まる新しい生活に向かって期待と不安が入り交じった何とも言えない高揚感に浸っておられることかと存じます。

これからの皆さんの人生において幾度も困難な壁が立ちますが、乗り越えることができると思います。昨年現役引退したプロ野球選手のイチローは、「壁」というのは、できる人にしかやっこない。超えられる可能性がある人にしかやっこない。だから、壁がある時はチャンスだと思ってる」と語ったそうです。

映像デザイン科で学んだ知識、3年間一緒に過ごした友達や先生方と経験はこの「壁」を超えるために必ず助けになってくれるはずです。

この「壁」を乗り越えた経験を写友会の活動を通じて映像デザイン科の後輩たちに伝えてあげてください。皆さんのお手伝いを心よりお待ちしております。

大阪市立工芸高等学校 写真工芸科二十七期

写友会副会長 小川 広幸

写友会とは、大阪市立工芸高等学校の写真工芸科(1957～1992)、映像デザイン科(1993～)卒業生と職員・旧職員の皆さんで構成される同窓会組織です。

最近では、夏の作品指導や工芸展での写友会アワードなど、在校生の皆さんと接する機会も少しずつ増えてきました。

本日ご卒業される皆さんは、いよいよ私たち写友会の仲間となります！

『写真・映像を通じて母校の発展と社会貢献に寄与すること』を目的としています。(写友会ホームページより抜粋)とあります

★レスキューダンス撮影現場に写友会も潜入してきました★
救急車出動件数全国1位の大阪市。心肺蘇生の知識を向上させ、助かる命が少しでも増えればと、大阪市消防局東住吉署の前川茂紀さんが発案。大阪府立登美丘高校ダンス部にダンスを、わが映像デザイン科に映像制作をお声掛けいただきました。

2019年3月24日(日)

ロケ現場となった工芸高校に、登美丘高ダンス部の生徒、消防隊員の方々も救急車両とともに集結し、にぎやかな雰囲気での撮影スタート。

物干し竿と砂袋で作ったクレールンやキャスターをつけた三脚等、手作り感溢れる機材を使い、ロケーションも様々変えながら工夫を凝らして撮影していく生徒たち。撮りたい画について熱心に伝える生徒、それを汲み取って応えてくださる登美丘高ダンス部の皆さん。

高校生たちが普段とは違った環境ながら、お互いの個性を生かし真剣なまなざしでものづくりする様子は、とても爽やかでまぶしかったです。

こうしてたくさんの人々の思いをのせて作成されたレスキューダンス動画は、119番の日(11月6日)にYouTubeにて配信開始されました！

★写真コンテストアワード★

毎年恒例、写友会有志プロカメラマンによる写真コンテスト出品作品アワード！今年度は因幡 雅文さん(十六期)、稲垣 さん(二十期)、佐藤 信次さん(三十三期)にご指導いただきました！



8月19日(月)・8月26日(月)



写友会活動報告



歯科医師の鳥淵隆睦さんがドローン撮影で協力してくださり、よりダイナミックな画を撮ることができました。



チャーター・平成なにわ淀川花火大会での活動の成果を発表しました。



11月21日(木)

★JCIの月例定例会にて活動報告★



来年度もたくさんの在校生がさまざまな現場体験ができるように、写友会もお手伝いをしたいと思います。

一般社団法人大阪青年会議所(JCI)×大阪市立工芸高校映像デザイン科×写友会 コラボプロジェクト!



8月10日(土)・11日(日)



★第30回平成なにわ淀川花火大会★
今回もとっても暑かったけど、間近で見た花火は格別!



7月14日(日)



5月11日(土)



2020年1月25日(土)と26日(日)、第72回工芸高校展の開催にあわせ、映像デザイン科の学生作品を対象に今年も「写友会アワード2020」を開催しました。

まず初日に、プロの現場でご活躍されている写友会会員より選出した審査員がひとつひとつ丁寧な作品審査を行いました。若手からベテランまで様々な意見が飛び交い、各部門賞が決定。また、工芸会会長の中西 州さんにもご来場いただき工芸会長賞を選出いただきました。

二日目の展示終了後には各賞の発表ならびに表彰を行い、杉野会長・田浦副会長と一緒にプレゼンターとして、春に卒業した60期のメンバーも花を添えてくれました。

今年も個性的な作品が数多くあり、私たち会員も刺激をもらうことができたと思います。

各部門賞については、以下のとおりです。



【写真部門】

- 金賞 3年生 川嶋 壮汰 「Coda・Path・Deverance」
- 銀賞 2年生 番平 ももの 「窓洩れ日」
- 銅賞 3年生 駒澤 一樹 「情熱パドラー」



【VTR部門】

- 金賞 3年生 松尾 藍花 「アニマルライブラリー」
- 銀賞 3年生 松田・駒澤 「Singarty」
- 銅賞 2年生 秋山・池田・小泉・永田・長濱・長町・三宅 「5時55分」

【CG部門】

- 金賞 2年生 松田 真治 「中学二年生頃から発熱する深刻な病」
- 銀賞 2年生 奥野 ひなた 「ゴミの世界」
- 銅賞 2年生 小泉 辰仁 「チャーフィン」

【工芸会長賞】

3年生 石田 美結 「夢を食む」



【奨励賞: 1年生写真】

- 陰地 里奈 「瞬間的空間系園児」
- 多喜 希 「女子会」
- 西浦 奈那 「遊れあい」
- 藤縄 空 「しっぴーどとー」
- 別府 沙恵 「JUMP」

